

考察

Prominent® STIFFはpush and supportに特化しており、屈曲・蛇行病変や石灰化などのCTO病変、distal puncture時に用いられることが多い。しかし予想以上に追従性がよくpedal archを突破しやすい。そのためretro approachがより安定してdistal punctureを追加せずとも治療成功できる可能性が高い。

さいごに

堅牢なマイクロカテーテルのProminent® STIFFは追従性が良好であり、多くの症例でretro approachからのワイヤーパフォーマンスを落とさず治療ができる。Prominent® STIFFを使用することは、distal punctureを減らし出血合併症や術後閉塞のリスクを減らす可能性がある。

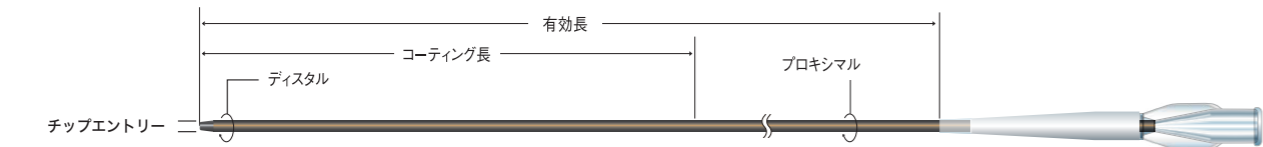
製品仕様

チップエントリー 外径(Fr)/内径(inch)	ディスタル 外径(Fr)/内径(inch)	プロキシマル 外径(Fr)/内径(inch)	適合最小 ガイドングカテーテル 内径(inch)	適合最大 ガイドワイヤ径(inch)	最大耐圧 (先端開放時) (psi)
1.35/0.016	2.6/0.017	2.6/0.017	0.038	0.014	300

Prominent® STIFF MC			Prominent® STIFF PC		
カタログ番号	有効長(cm)	コーティング長(cm)	カタログ番号	有効長(cm)	コーティング長(cm)
MCSF040 ※	40	20	PCSF040 ※	40	20
MCSF060	60	30	PCSF060	60	30
MCSF090	90	30	PCSF090	90	30
MCSF110 ※	110	45	PCSF110 ※	110	45
MCSF135	135	60	PCSF135	135	60

※は受注生産品のため、詳細につきましては弊社営業員へ問い合わせください

※は受注生産品のため、詳細につきましては弊社営業員へ問い合わせください



Prominent® STIFF MC 保険請求分類:血管造影用マイクロカテーテル/オーバーザワイヤー/選択的アプローチ型/ブレードあり

☐販売名:TMPサポートカテーテルV ☐一般的名称:中心循環系マイクロカテーテル/血管狭窄部貫通用カテーテル ☐承認番号:30500BZX00149000
☐クラス分類:高度管理医療機器 クラスIV ☐再使用禁止

Prominent® STIFF PC 保険請求分類:狭窄部貫通用カテーテル

☐販売名:TMPサポートカテーテルV ☐一般的名称:中心循環系マイクロカテーテル/血管狭窄部貫通用カテーテル ☐承認番号:30500BZX00149000
☐クラス分類:高度管理医療機器 クラスIV ☐再使用禁止

改良等の理由により、仕様の一部を予告なく変更する場合があります。本製品を使用する際には、必ず電子添文をお読みください。

Pedal archを介したretro approachに Prominent® STIFFが有効であった一例

海老名総合病院
循環器内科
齋藤 崇史 先生



はじめに

EVTにおいて病変通過のためのback upは重要な因子である。血管・病変の性状は症例で異なり、それぞれに適したワイヤー、マイクロカテーテルを使用することが必要である。Prominent® STIFFは高度石灰化病変等に用いられるカテーテルであり、直線化に寄与してpush and supportに特化した設計となっている。追従性のよいマイクロカテーテルはpedal archを介してretro approachを可能とするがback upが乏しくdistal punctureを必要とする症例がある。Prominent® STIFFはpedal archを追従することが可能であり、retro approachでのback upを強化し追加穿刺せず治療を成功させることができる場合もある。

症例

既往に高血圧、脂質異常症、糖尿病がある83歳男性。1か月前から両下肢冷感が出現した。特に受診せず様子を見ていたが、受診当日の朝に色調変化と両下肢疼痛が出現したため救急要請、当院搬送となった。左下肢は踵部に潰瘍あり。ABIは両側測定できず。造影CTで左pop.A、pero.A、PTAのCTOであり(Figure 1)、BTKを含め介入することとした。同側順行アプローチで左FAにParent[®] select 21cm(メディキット)を挿入し造影した(Figure 2)。ASAHI Gladius(朝日インテック)+Prominent[®] STIFF 135cmでpop.Aの通過に成功した。Pop.AにWolverine[™] 4.0×15mm(ボストン・サイエンティフィック)を12atmで拡張した後にSHIDEN HP 5.0×40mm(カネカメディックス)を20atmで拡張した。



Figure 1

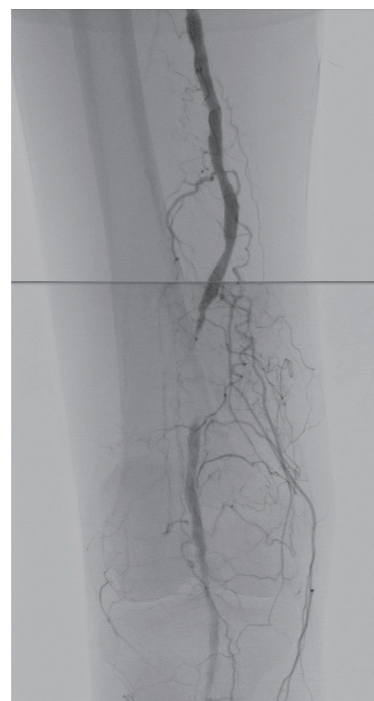


Figure 2

Flow良好になったことを確認しBTKへの治療を加えた。PTAをIVUS guideで選択し進めようとしたが困難であった(Figure 3)ため、retrograde approachを加えることとした。Gladiusでpedal archを介してPTA distalまで進めた。



Figure 3

Pedal arch部分がwire shaftとなっていることを確認しProminent[®] STIFFを追従させ、抵抗なくPTA遠位部まで進めることに成功した(Figure 4)。Jupiter[™] FC(ボストン・サイエンティフィック)へ変更しPTA近位部まで進めた。True lumenを選択することが困難であったが、Prominent[®] STIFFであったためknuckle wireでpushしwire crossに成功した。Sheath内でante側からProminent[®] Advance Standardでrendez-vousし、Prominent[®] Advance StandardをPTA遠位部まで誘導した。AnteからGladiusへ変更しSABER[®] 2.0mm(コーデイス)で拡張(Figure 5)した。引き続きSFAにIN.PACT[™] 5.0×150mm(メトロニック)を塗布した。最終造影でflow良好(Figure 6)であったためEVT終了とした。



Figure 4



Figure 5

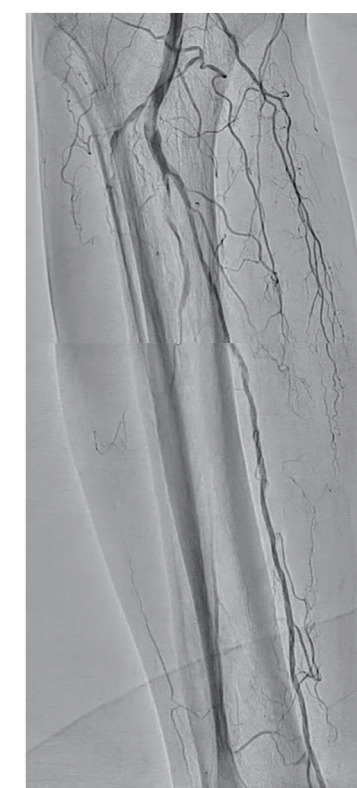


Figure 6